

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	持田 田村
	全体計画						経費区分		-		内線	3254
事務事業名	4129 狂犬病予防対策事業											
所 属	140100 環境部・生活環境課											
施 策	03011100 環境を守る活動の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	040105 衛生費・保健衛生費・環境衛生費										
	事業	060000 狂犬病予防対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
飼犬の狂犬病予防注射の実施を確実にいき、狂犬病の予防に努める。						登録犬の狂犬病予防注射業務を委託するなど適正な飼育犬の管理を行う。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
登録頭数 2511頭 未注射犬 40頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施	登録頭数 2500頭 未注射犬 20頭 注射実施会場 56会場 巡回注射実施
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	未注射犬						
算式						単位	頭
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標	20					
	実績						
指標選定の理由	狂犬病の予防に努めるため。						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		498	555
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	524	555
一般財源		△26	0
人員数 (人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.1	0.0
人員 コスト	正規職員	6,487.2	6,487.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	103.0	0.0
	計	6,590.2	6,487.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		7,088.2	7,042.2

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	79	消耗品
13節 委託費	367	犬の登録管理および狂犬病予防注射業務委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	52	須高飼犬管理対策協議会負担金
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	80	消耗品
13節 委託費	419	犬の登録管理および狂犬病予防注射業務委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	56	須高飼犬管理対策協議会負担金
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	飼犬の狂犬病予防注射の実施を確実にし狂犬病の予防に努め適正な管理を行う。市民の安全には不可欠な事業。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	登録犬の狂犬病予防注射の実施を確実にし、狂犬病の予防に努める。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	狂犬病予防注射業務を長野県獣医師会へ委託し、巡回による集合注射を実施した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

未注射犬の飼い主へ、督促状の発行、電話による催促を行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>獣医師会、保健所、利用者と連携し事業を継続する。迷い犬対策としてマイクロチップの普及や繁殖制限補助の見直しが必要。愛護動物の適正飼育について総合的に検討する必要がある。特にネコの繁殖制限補助を充実する。</p>		<p>狂犬病予防注射は市民の安全を確保する上で必須の業務。長野県獣医師会に委託し、確実に実施されている。</p> <p>マイクロチップの導入による業務効率の向上や繁殖制限補助制度の改善等検討が必要。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント